

むなしくなれりと也、龜の井 神田すだ町ニ在 海晏寺の紅葉 品川海晏寺と云禪寺の後山、一色にみな紅葉也、鳥の森 愛宕の下いなりの森を云 鎌が淵 淺草駒形堂の前を云 甲塚 かぶつ かやば町牧野殿屋敷の内ニ在

よ 横堀 淺草川也爰ニ立堀有ニ對して、横に有故かく云也、淺草川を東へ本所ニ至る川也、

鎧の渡 かやば町より小網町へ行渡しを云、古へ平將門此所ニ來り、甲鎧を置たると云、甲は甲塚とて、今牧野殿屋敷に在、代々木野 中野先也

た 立堀 淺草川を東へ本所ニ至る川筋也 溜池 江城の西方山王の後也 玉川瀧 赤坂

松平出羽守殿屋敷ニ在 高尾の紅葉 葉柴村正光院と云淨土寺に在、そのかみ吉原三浦四郎左衛門が女郎、二代目の高尾とて、いと名高き大夫有て、万治の初方身まかりけり、其からを今の正光院の内に埋て傳譽妙心と改名して弔をなせり、名女の名殘もいとあはれなれば、名によそへて紅葉一もと植てゑるしとせしに、大木と成人のなつかしみをうくる色木と成れり、

つ 杖いてう 麻布ニ在、親鸞上人つき給へる杖をさし給ふが、榮て大木となれりと云、 佃島 伊勢佃のりやうしの集て築たてたる島なれば、かく稱すると也、鐵炮洲也、 綱塚 芝聖坂 功雲寺こうぐんじに在

な 業平渡 淺草竹町より向へ越ス渡し也 中野 四ツ谷の淀橋の先を云

う 軀が池 淺草の東明王院の庭にあり、いわれことぐ、しう云侍る白口 牛島 淺草川の向ひ也、下總の内也、

の 野中の井 谷中三崎さんさきの邊野中に在

や 柳の井 湯島天神男坂の下ニ有、又虎御門の内朽木殿屋敷脇にも柳の井と云有、 柳島